

「札幌の医療に関するデータブック」に係る意見集計結果

1 意見の有無

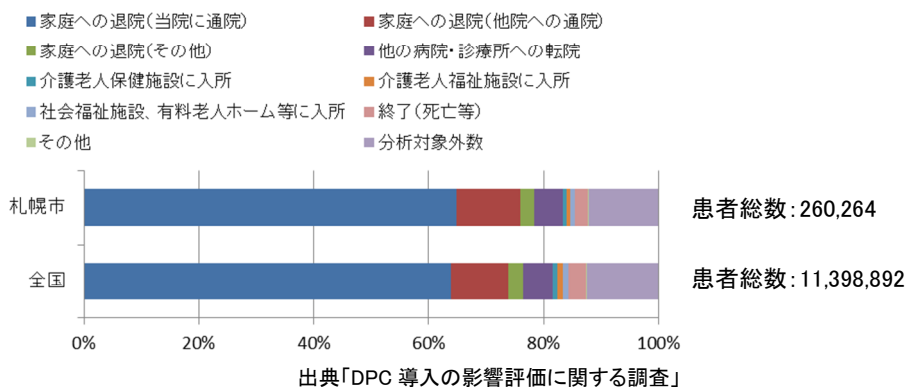
意見あり：4名

2 意見の内容とそれに対する回答

意見の内容	回答
病一診連携、訪問看護との連携を検討するときの参考にす るために、在宅復帰率を追加してほしい。	本市の在宅復帰率を示すデータとしては、DPC 調査の対象となる病院・患 者について、家庭や介護施設への退院、他院への転院等の状況が公表されて います。しかし、これは主に急性期の患者が対象となっており、回復期・慢 性期が含まれていないことから、本データブックには掲載しておりません。 【図1参照】
病床の種別で「精神病床」から始まることに違和感がある。	一般、療養、精神、感染症、結核病床の順に修正しました。
現時点で札幌市に「認知症疾患医療センター」はないため、 例示内容を修正した方がいい。	修正しました。
歯科技工士のデータが含まれていないのはなぜか。	病院・歯科診療所に勤務する歯科技工士は数が非常に少なく、歯科技工所 に勤務する数は国の調査対象外であるため、本データブックでは掲載してお りません。（2014年の病院1施設当たりの歯科技工士数：0.1人/施設、診療 所1施設当たりの歯科技工士数：0.1人/施設） 【図2参照】

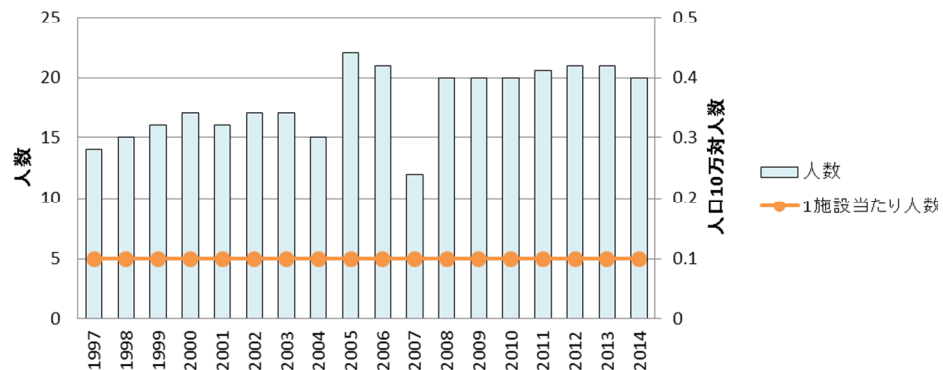
【図1 患者の退院先】

患者の退院先の状況(2014年)



【図2 歯科技工士数】

札幌市内病院の歯科技工士数



札幌市内歯科診療所の歯科技工士数

